

FB通信

うつのみや

フードバンク通信® -2020/4/25- //2019年1月15日創刊//



フードバンクうつのみや

NPO法人 フードバンクうつのみや

TEL 028-622-0021 URL <https://fbu2189.org>

FAX/028-623-6036 栃木県宇都宮市埴田 2-5-1 共生ビル3階

新聞で食品が不足しているという記事を目にして、何かかになれないかと思いました。ゆずかて申し訳ありませんが、ふみまこ栃木に思返しをしたいと思い、寄付させていただきました。

←食品寄付くれた人から。



FB 利用いつもの3倍！1日7家族。 みなさんの食品は、確かに誰かの命を救っています。

●曾根裕弥（フードバンクうつのみや・理事）

コロナは私たちFBに食品枯渇危機をもたらしています。食品集めのフードドライブは軒並み中止。食品買だめする人が増えて、心の余裕がなくなり受付量の減少。さらに、水害の栃木市での「きずなセット」の食品在庫も重なり、フードバンクの棚はスカスカになったのです。

企業の助成や休業補償の制度ができて、困窮は待ってくれません。困窮している人にとって、FBはまさに命綱なのです。

倉庫の食品枯渇の危機脱出は、メディアによる報道でした。新聞4社とテレビに徳山さんが出て「食品が足りません」とボンボン訴えかけました。すると、「新聞を見て来ました」「フードバンクの食品が足りないと聞いたので」と、県内全域から食品を持ち寄ってくれたのです。皆様のおかげで、第一波の危機はなんとか乗り越えました。

でも安心できません。毎日、コロナで失業した人や、仕事が減った人、ガス水道・電気止まった人・・・が増えてきました。

3月の食品支援は144件。一日7人（世帯）。このままいくと1700人になってしまい、前年600件の3倍になってます。もっと増えるので2000～4000人（世帯）は覚悟だな、と思います。コロナで大変なのは、これから先が本番だということ。

困っている人にとって、FBは命綱。みなさんの寄付は、確かに誰かの命を救っているのです。継続的なご支援が無ければ、この苦難を乗り越えることはできません。助け合いの輪を閉じないために、引き続きのご支援を強くお願いいたします。（曾根）

善意で成り立つFB。「まだまだ頑張らないと」

石江 カ(77)



76歳まで仕事と縁が切れなかった私にとって、退職後の自分はどうか過ごしたらいいのか？と迷いながら毎日を過ごしていました。そんな時にふと、FBうつのみやを知りました。

訪ねたその日から善意の寄贈食料の伝票書きをやることになり、気が付いたらFBボランティアは私の大切な生き甲斐の一つになっておりました。

感銘を受けたのは、スーパーマーケットや「きずなボックス」の寄贈だけでなく、個人で食料を寄贈する方が意外と多いことです。この、せちがらい世の中で、こうやって食料を寄贈することは本当に大変なことだと思います。

多くの人々の善意によってFBが成り立っていることを思うとき「まだまだ自分は頑張らないといけない」と日々、感じる次第です。（石江）

今月のSOS

FB 利用世帯数（相談回数）

2月 33 世帯（相談 50 回）
3月 31 世帯（相談 35 回）

▼FB利用者の主たる利用理由（2020年2～3月）※数字は人数(世帯数)

失業 16人(世帯)	金銭管理	4	お金紛失	4	コロナウイルスの影響	4
	服役後	3	交通事故	2	借金	2
病気 15人(世帯)	不安定な仕事	3	DV	2	支援者	2
			年金生活	2	野宿者	1
					急な出費	1

ボランティアのつぶやき

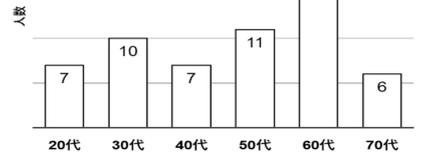
「明日から食べるものがない」…緊急性の高い人が増えました。(I)

非正規雇用で働く人の雇いどめが多いですね。(O)

触法少年の保護施設を運営する支援者も来ました。(M)

20-30代の若い人が増えています。(K)

年代別FB利用者数(2-3月)



今月のSOSの一部

●SM男 23歳・宇都宮。「コロナ感染者の出た店で買い物していた」という理由で解雇され困窮。社員寮を4日後までに退寮せねばならない。6月に東京の会社に入社が決まったが2か月間住むところがない。

社員寮には彼女と2人で住んでいた。⇒米3kg 食品4kg 支援。不動産を紹介。

●SZ男 22歳・宇都宮。祖母84歳、父56歳との3人暮らし。生活費を祖母の年金(135,000円/1ヶ月)に依存している。公共料金や税の滞納あり。体調に不安がある。⇒米10kg食品6kg支援。

●YS男 60歳・2回支援・宇都宮。野宿生活状態。寮付きの会社の就労を目指している。昨日県外から住民票のある宇都宮へ来たが身の回りの物を友人に預けていた友人はいなくなっていた。昨夜は公園で一夜を明かした。⇒冷凍パン2個提供。缶詰めパン、カップ麺など支援。⇒②調理不要な食品1.5kg支援。生保申請中。

●TK男 33歳・宇都宮。コロナで仕事が無くなり困窮。弁当屋で日雇いの仕事をしていましたが、インフルエンザで休んだ。職場復帰するも仕事が無いので解雇された。⇒1kg食品支援。

●ST男 73歳・宇都宮。年金20万円のみで生活。元家族に面倒を見てもらっていた。土地と建物があり生活保護にはつながらなかった。ライフラインが止まったため、生保、施設入所の方向が決まった。⇒食品2kg支援。

●KM男 35歳・2回支援・宇都宮。内縁の妻37歳、義娘17歳。内縁の妻が体調崩し年末に退職したため、家族全体の収入が激減した。本人は農園で年間を通じて働く(月収15万円)。娘は学校へ行けていない。⇒米5kg食品12kg。⇒②米5kg食品3kg支援。無料定額診療所の紹介。

●NK男 68歳・宇都宮。仕事減+医療費がかさみ困窮。がんの手術後であり現在通院し治療中。医療費は1か月に1万円以上かかる。普段は月8万円の収入があるが、今

FBでたすかりました

「NPO への見方が変わりました」

角田 美和さん (45)

栃木市で「きずなセット(台風19号被災者支援活動)」の活動中、寄付いただいた玄米をスーパーで精米していた時のこと。夫婦が米糠を取りに来ました(精米時の米糠を無料提供している精米機が多くあります)。

精米の待ち時間にお話していると、台風19号で被災された方々でした。それならば、ということできずなセットの活動についてお話し、住所などを尋ね、その日のうちに発送しました。



翌日「セットが到着した」とお礼の連絡をいただきました。

「NPO 法人って信用していなかったの。何やってるかわからないでしょ。だから本当に食品が届くとは思ってなかったのだけど、翌日に届いてびっくりした。しっかりと活動しているNPOもあるんですね。FB うつのみやさんのおかげでNPO への見方が変わりました。届いたお米は早速今日炊いてみます。ありがとうございました」と、非常に嬉しくなるお言葉をいただきました。地道にでもしっかりと誠意をもって活動していくことが大事だ、と改めて実感しました。(FB ポラ・伊東)

S O S の途中

「食品ほしい」相談から労働紛争解決への道

原 亘男さん(仮名 50代)

休業補償なし、住まいの退居、
入学資金の納入迫り…

「食べるものがない」とネット検索をすると「フードバンク(以下FB)」がヒットする。さらに「栃木県」を追加すると県のHP「FBについて」のページが出てくる。原さん夫婦はそんな手順でFBうつのみやを探して2月のはじめにやってきた。

原さんは娘2人いる4人暮らし。心臓疾患を持っているので、身体障害手帳が交付されている保険証があれば医療費助成と合わせて医療窓口負担金は無料である。しかし昨年他県よりS市に移住してきた原さんは仕事が見つからず、医療保険証交付の手続きができずにいた。

奥さんは介護サービス施設の職員として働いていたが、ある日利用者を送迎中に物損事故を起こし、送迎車のサイドミラーを損傷してし

まった。事故の影響で法人から「しばらく自宅待機するように」と命ぜられた。休業補償も無く1か月近く経過した。

更に住まいは、奥さんの叔母の持ち家を借りていたが、叔母が亡くなったため遺産相続の対象となり、家を出なくてはならなくなった。追い打ちをかけるように長女の入学資金(30万円超)の納入も迫られていた。最後の手段として、原さんは東京の親戚に借金を申し込みに出かけた。そ

の夜、娘から電話があり「家の電気が止められた。真っ暗になった」と泣き声が聞こえてきた。何とか電気は復活できたが、食べるものが底をついてしまい、原さん一家は困窮。これが二人がFBを訪ねてきた背景である。

お米を中心に食品の支援を行うとともに、奥さんには自らの身分の保全を求めて、職場(経営者側)ときちんと話し合うことを勧めた。その際、奥さん(労働者側)は一人で自分の主張をしなければならないため、弱い立場の労働者を助ける制度として個別労働紛争解決制度を利用しようと話をした。早速、ハローワーク宇都宮の建物にある栃木労働局へ行き相談を行った。

FBの相談・食品支援を2回利用した藤田さん。その後「今週の金曜日に施設長さんたちと話をすることになりました」。さらに奥さんが「職場は退職するつもりだが、今までの給与を支払ってもらい、次の仕事を探せるよう円満な退職にするつもりです」と付け加えた。

これで、原さん一家を襲った困難は、FB利用から一定の解決の方向へと歩き始めた。(小澤)

<個別労働紛争解決制度>人事労務管理の個別化や雇用形態の変化に伴い、労働関係に関する事項についての個々の労働者と事業主との紛争が増加しています。労働局では、個別労働紛争の解決を援助するため「個別労働関係紛争の解決の促進に関する法律」に基づいて、総合労働相談コーナーにて、紛争解決の支援を行っています。



小澤勇治●本会職員

月は警備員の仕事1日(6千円)のみ。年金は月に5万円。社協の緊急小口資金貸付の申込に行った。⇒米3kg食品3kg支援。●

SZ男79歳・2回支援・栃木県内。年金生活の元野宿生活者。保佐人としてサポートセンター職員が就任し支援している。ビジネスホテルに居住。宿泊料20-30万円滞納。本人は年金額を把握しておらず宿泊料滞納も自覚はないとのこと。⇒食品4kg支援。⇒②食品2kg支援。

●**HS女22歳・2回支援・栃木県内。**摂食障害にて通院中。施設にて20歳まで生活。1年ほどアルバイトするが、**いじめ等で疾患が重くなり退職。**⇒米5kg食品9kg支援。社協訪問配達。⇒②米5kg食品3kg支援。債務整理を優先させる。

●**YS男45歳・宇都宮。**窃盗の実刑判決を受け**執行猶予で釈放**された。別居の家族を頼り宇都宮へ来たが、別の生活をしたため頼れず。住み込みの仕事を探している。⇒食品支援。社協の相談窓口紹介。

●**HN男70歳・宇都宮。**借金の返済で困

窮。仕事を探しているが、70歳なので仕事が見つからない。年金担保と借金で生活費が圧迫。車を手放さないと受給できないので生活保護を受けられない。⇒米5kg食品2kg支援。

●**IS男53歳・2回支援・宇都宮。**自営業が不況のため困窮。父が経営していた建設会社の中の一部門を独立させて経営していた。しかし**経営不振**となり休業状態になった。仕事を探している。⇒米5kg食品2kg支援。⇒②米5kg食品3kg支援。

●**KT男62歳・5回支援・宇都宮。**腰の持病等で働けず生保を受給して生活していた。しかし、貯金が140万円たまったことにより生活保護が打ち切られた。ショックでその140万円も**使い果たして**しまった。⇒米3kg食品2kg支援。⇒②生保申請勧めた。調味料2kg支援。⇒③米3kg食品1kg支援。⇒④米3kg食品1kg支援。⇒⑤米3kg食品1kg支援。

●**AK女55歳・2回支援・宇都宮。**PTSDがあり、貯蓄を取り崩して療養生活をしている。障

害者雇用枠の仕事は雇い止めになった。事件の相手側の職場より清算金(120万円)の請求が来る。⇒食品支援無し。専門家(弁護士)の相談会に同行する。

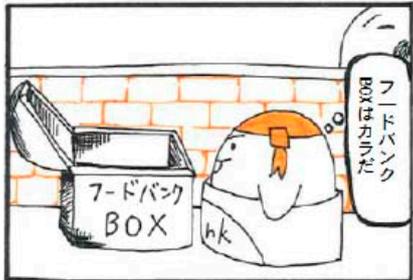
●**AR女38歳・宇都宮。**長男17歳。生活保護受給中だが**交通事故**にあってしまっただ。医療費の保険料が不規則に入金のため一時的に困窮。⇒米5kg食品4kg支援。

●**WT男71歳・宇都宮。**交通事故の罰金刑を受けたがお金が無いため「労役」に行かねばならない。先延ばしにしていたが地域包括が支援に入る。生保申請したが**「労役が終わってから」**と受理されなかった。⇒食品0.5kg支援

●**SA男42歳・2回支援・宇都宮。**5人家族。家族全員で食べられる食品が欲しい。3ヶ月以上安定した収入のある仕事に就けずライフラインの**ガスが止まって**しまった。母親(73歳)は要介護4。⇒米19kg食品12kg支援。⇒②米10kg食品10kg支援。「仕事が決まった。収入があれば何とか生活できそうだ」

ふーばくん

作：Aさん（高校生FBボラ）



今だから
新見か
食べ物を
よてらよ

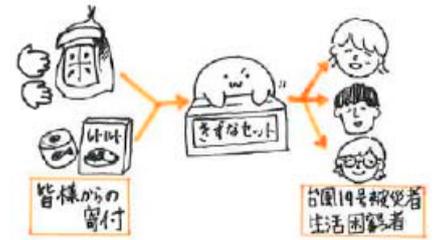
クモクモ五七五

●クモクモ/クモクモ星からやってきた勇者。FBボラで活躍中。志は大気圏途中でござる！

台風19号被災者支援

「きずなセット」活動報告

2020年1月～4月に赤い羽根共同募金の台風19号ボラサポの助成を得て、台風19号で被災された方、困窮された方向けの食品「きずなセット」の配送を実施しています。配送先は当初、栃木市・宇都宮市を中心にする予定でしたが、コロナウイルスの影響で困窮している方にも届けよう、とい



うことで県内全域に拡大しました。各市社協に協力を仰ぎ、合計508セットを4月中にお届けする予定です。

きずなセットの協力団体 栃木市子どもの家



3月10日、きずなセット20個を栃木市子どもの家へお届けしました。栃木市民活動推進センター・くららに配送のお手伝いを頂きました。

栃木市社会福祉協議会



3月14日、きずなセット70個を栃木市社会福祉協議会へお届けしました。こちらを通じて、個人や福祉施設などに配達していただきました。

送り先の声

助けてくれる人がいると思うと頑張る気持ちになります。

毎日きりつめて生活しているので大変助かりました。

米やみその必需品も大変ありがたかったのですが、デザートもいただけでさらに嬉しかったです。

子どもたちがご飯を美味しく食べてる姿を見て、母親として嬉しい限り。

FBボランティア募集

- 問/028-622-0021 (とちぎVネット)
- パソコン入力ボランティア
食品の入出庫の記録をパソコンに入力。週4時間程度の仕事量です。
- 困窮者聞き取りボランティア
フードバンクに「食品ほしい」と来る人の話を聞きシートに記入します。不安な人は研修も受けられます。1回2時間、週1・2回程度できる人。
- 食品管理ボランティア
入庫した食品の賞味期限を確認し、期限ごとに食品棚に並べます。相談者へ渡す食品も準備したりします。週に1日か2日、2時間から4時間ぐらいが目安です。
- 送迎ボランティア
スーパーマーケットや施設に置いてあるきずなボックスの食品の回収や、寄付のお米の精米に行くときに、車を運転します。

10代～70代まで得意を生かして活躍中。是非、一緒に活動しましょう！

ピックアップ 給付金 10万円 寄付

Sさんご夫婦が10万円のコロナ定額給付金をFBうつのみやに寄付したい、という申し出がありました。

「10万円がなくても何とか生活できている。それならばコロナなどで苦しんでいる人を支援している団体を応援したいと思ったので、FBへ寄付しよう」

Sさんご夫婦、ありがとうございます！

- ホームページ 開設しました。ブログ更新中！
- Twitter 毎日更新中！フォローよろしく！



「もったいない」を「ありがとう」に。

NPO法人 フードバンクうつのみや 会員募集

- 正会員 12,000円
- 賛助会員 3,000円
- 学生会員 1,000円
- 団体会員 30,000円



寄付者・会員のお名前

- 正会員 / 伊東由晃, 小澤勇治, 木下一成, 高橋昭彦, 徳山篤, 矢野正広
- 賛助会員 / 我妻英司, アレクサンダー舞, 石江力, 石川照雄, 江馬久美, 小野健市, 小野奈緒美, 北村里香, 小林多加志, 齋藤幸子, 境京子, 柴田貴史, 鈴木実, 関山真由美, 塚本明子, 中野謙作, 永見光弘, 並木孝夫, 早川美奈子, 原田芳子, 平木ちさこ, 松葉友恵, 門馬芳子, 矢野

1/1-3/31 順不同 敬称略
会員数 31人 (3/31時点)

- 浩美
- 学生会員 / 宮坂真耶
- 全寄付者 / 大塩大作 ¥2500, 大森敏臣 ¥3000, 小澤勇治 ¥3000, 小野塚暁子 ¥2000, 木下一成 ¥3000, 徳山篤 ¥3000, ノグチカズアキ ¥2000, (有) T.T. ファクトリー ¥100000, とちぎコープ生活協同組合 ¥50000, 八洋 ¥632, 匿名 ¥1000